

1 これまで3年間（H20～22年度）の取組について

1 児童・生徒の状況

(1) 学習事項の定着（学力）について

(成果)

- ・平成 22 年度全国学力・学習状況調査において、国語の「読むこと」や「言語事項」については概ね良好な結果であった。算数の基本的な計算もよくできていて、基本的な事項の定着が図られている。

(課題)

- ・平成 22 年度全国の B 調査では、国語も算数とも記述を要して回答する問題については無回答率の高い傾向がある。難しい問題に対しても、あきらめずに挑戦意欲を持つような姿勢を育成する必要がある。
- ・読解力がたりないのか文章題の回答が弱い。

(2) 「ゆめ力」「自分力」「つながり力」「学び力」の育成について

(成果)

- ・「将来の夢や目標を持っていますか」の問いに対して、強く肯定する割合は高くなっている。
- ・「国語や算数の勉強は大切」だと思っている割合も高い。
- ・あいさつなどはすすんでできている割合が高い。

(課題)

- ・自分をコントロールできる力については、「学校のきまりを守る」など少し課題もみられる。
- ・家で宿題はきちんとおこなっているが、計画をたてて予習や復習する力に課題がみられる。

2 学校の取組

(成果)

- ・「すべての教育活動を通して豊かな表現力を育てる」をテーマに授業研究や研修を実施し授業改善の取り組みがすすんだ。
- ・朝学習などでの反復学習の推進が図られた。
- ・週 1 回の読書タイムの推進が図られた。

(課題)

- ・問題に対しての取り組む姿勢や、応用力など自分でよく考える取り組みに課題がみられた。
- ・読書量については、読む子と読まない子の差がみられた。
- ・書く力や読み取る力の取り組みに課題がみられた。

2

これから3年間（H23～25年度）の取組について

1 3年間の重点課題

重点課題		検証軸	25年度の到達目標
①	学力向上を図る	<ul style="list-style-type: none"> ・府、全国学力学習状況調査 ・单元ごとのテスト ・授業研究会 	<ul style="list-style-type: none"> ・学力低位層を引き上げる
②	体力向上を図る	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツテストや記録会の実施 ・授業研究会 	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツが楽しいと感じる割合を高くする。
③	ゆめ力・自分力・つながり力・学び力を高める	<ul style="list-style-type: none"> ・府、全国学力学習状況調査 ・学校教育自己診断の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・将来の目標をはっきりたてて自分に自信を持たせる。

2 3年間の取組計画

3年間共通の計画	年度ごとの計画	
①授業改善を図る。 ・全教職員による授業研究、研究授業、研修会、研究交流会 ②基礎的な学力育成を図る。 ・朝の学習タイム ・学力補充 ③読書活動の充実や表現力を高める活動の推進を図る。 ・読書タイムの実施と図書館ボランティアによる読み聞かせ ・庄栄図書館との連携 ④キャリア教育の推進を図る。 ・様々な人との出会いと交流の場をつくる。 ・小中連携の充実を図る。 ⑤基本的な生活習慣づくりのため ・家庭との連携を図る。 ・生活実態アンケートの実施 ⑥体力向上に向けて ・体力づくり週間の実施 ・体育科の研修会の実施	平成23年度	<ul style="list-style-type: none"> ・3カ年を見通し研究テーマ作成 ・授業研究の実施 ・推進体制の整備
	平成24年度	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマに沿った授業研究の実施と検証
	平成25年度	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマに沿った授業研究の実施と検証

3 推進体制

